

したがって

川上ダム案は、補償が概ね解決している
ので、早期に岩倉峡上流上野地区の浸水被
害を解消するのに有効な案です

このため、

以下では、川上ダム案について、現計画を
見直し、詳細検討を行います

治水計画

〈見直し後の治水容量〉

既往最大規模洪水による上野地区の
浸水被害を解消するのに**必要な洪水調
節容量の確保**

利水計画

三重県、奈良県諸都市、西宮市の利水について、早急に水需要を**精査・確認**します。

環境調査

これまで、以下のような調査を行っています。
 今後も引き続き調査を行っていきます。

項目		和暦年度	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
		西暦年度	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	
環境 基礎 調査	基礎調査	雨量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		流量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	植生調査														○	○			
	河川形態等調査												○	○	○	○			
水質調査		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
動植物 調査	陸上植物		○	○						○				○	○	○	○	○	
	大型水生植物		○								○					○	○		
	付着藻類		○	○						○	○								
	哺乳類		○	○						○	○							○	○
	鳥類		○	○						○	○							○	○
	爬虫類		○	○						○	○								
	両生類		○	○						○	○								○
	魚類		○	○						○	○								
	陸上昆虫類		○	○							○							○	○
	底生動物(水生昆虫類等)		○	○						○	○								
	希少猛禽類												○	○	○	○	○	○	○
	オオサンショウウオ												○	○	○	○	○	○	○

環境保全対策

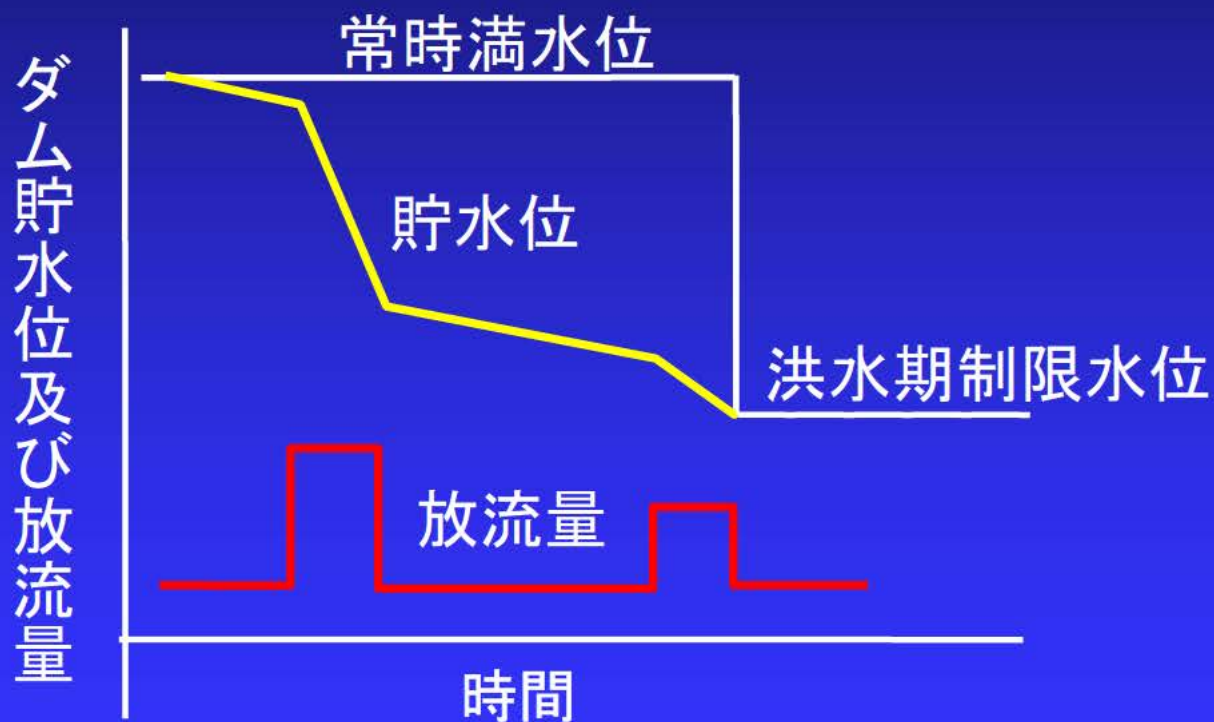
- 水位・水量
- 水温・水質
- 土砂移動の連続性の確保
- 生態系

■水位・水量

下流河川の水位変動や攪乱の増大のため、弾力的運用について検討します。

■弾力的運用の例①

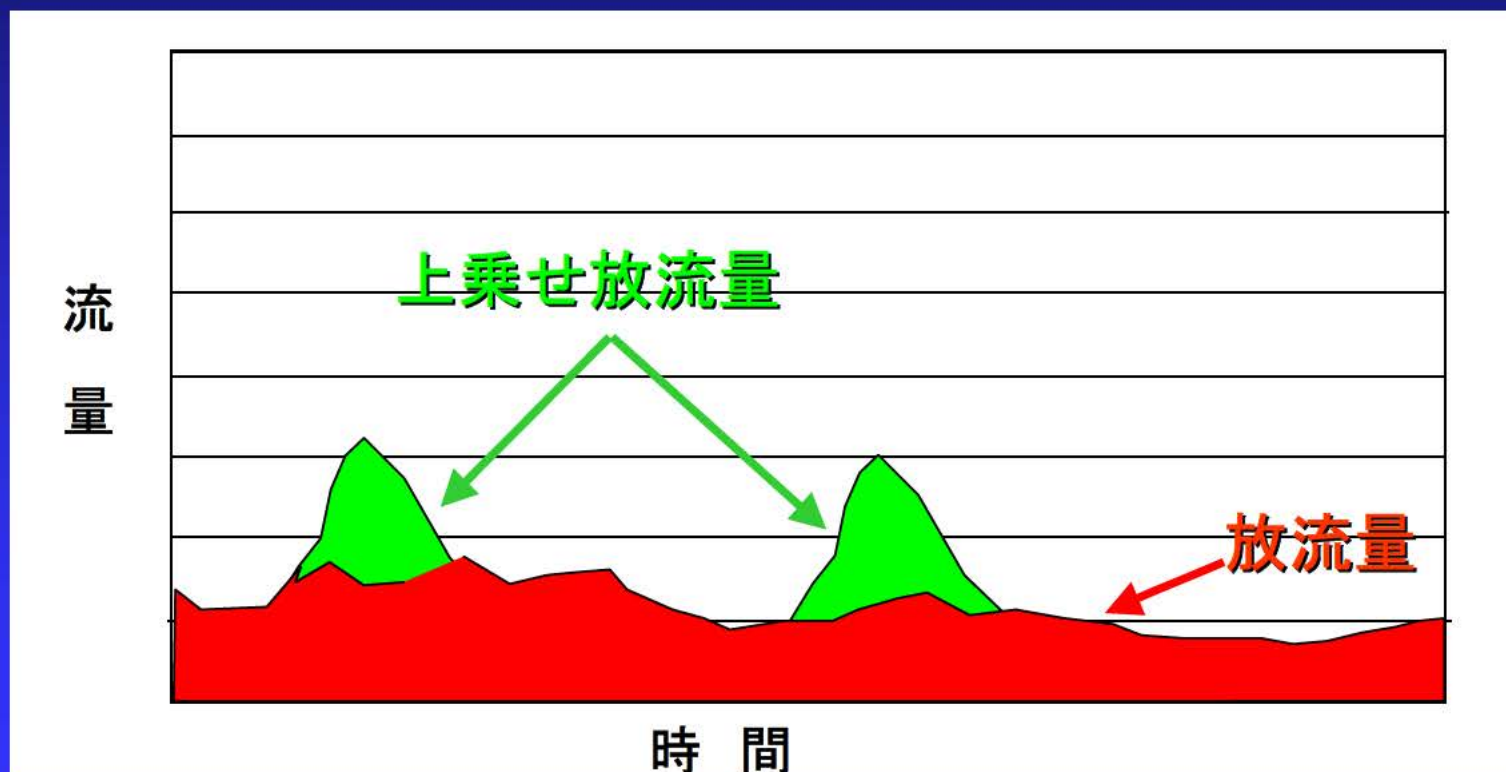
洪水期制限水位への移行時に、放流量を一時的に増やします。



ダム貯水位と放流量のイメージ

■弾力的運用の例②

貯留水を一時的に上乘せして放流します。



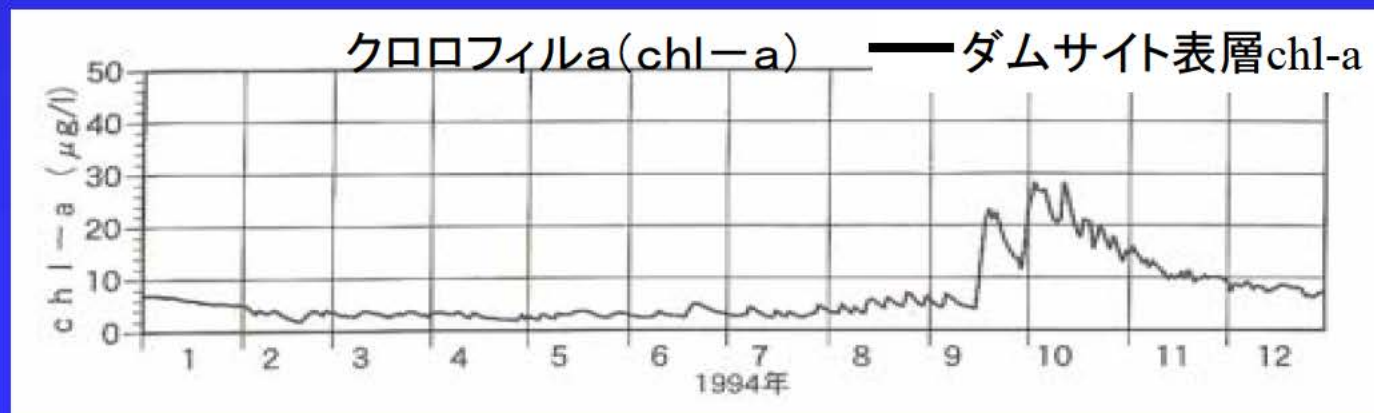
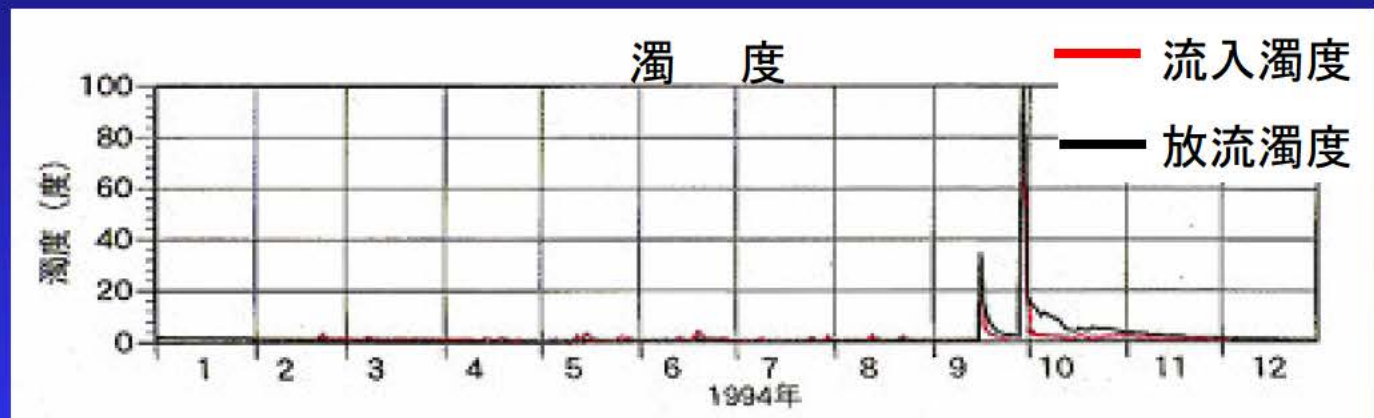
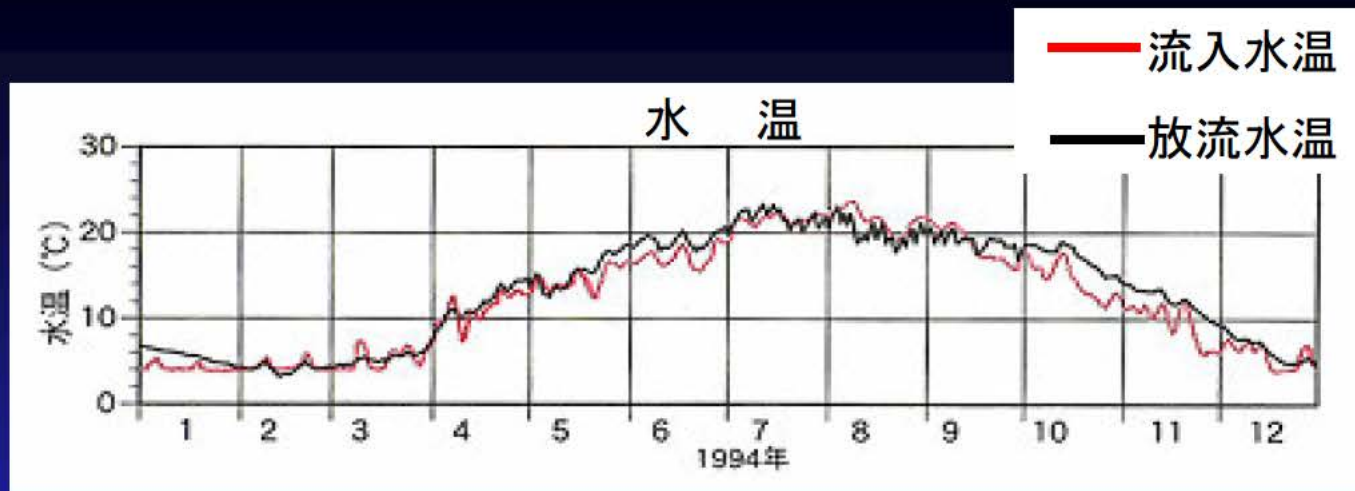
放流方法のイメージ

■水温・水質

貯水池内および下流河川の水質の変化について調査・検討しています。

現計画のダム運用での水温・水質予測を以下に例として示します。

今後、貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更を行う場合には、貯水池内および下流河川の水質をさらに**調査・検討**します。



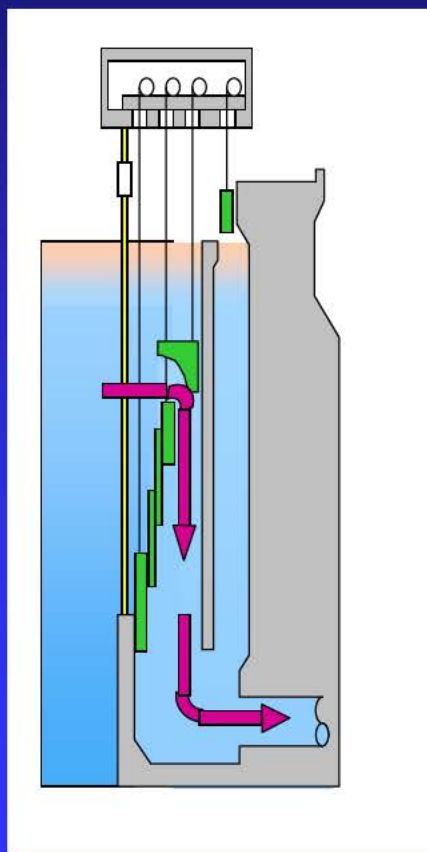
■水温・水質の保全対策

貯水池内及び下流河川の水温・水質の変化に対し、以下の対策の実施を検討しています。

- 選択取水設備
- 分画フェンス
- 深層・浅層曝気設備

■ 選択取水設備

貯水池の任意の水深から取水を行うことが可能です。



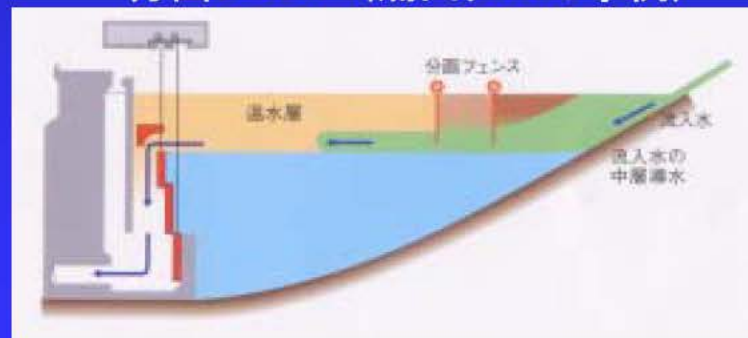
選択取水設備のイメージ図

■ 分画フェンス

貯水池表層の濁水および淡水赤潮等の拡大防止が可能です。



分画フェンス(浦山ダムの事例)



分画フェンスのイメージ図

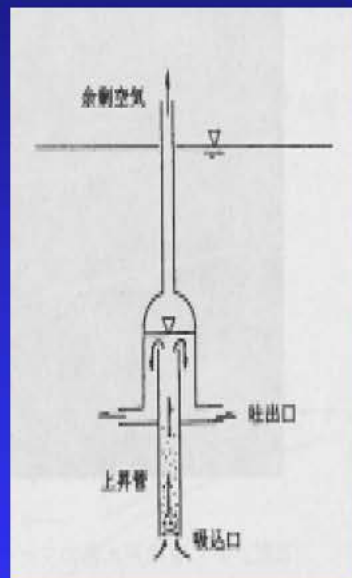
■深層・浅層曝気設備

貯水池底層の溶存酸素を増大することが可能です。

浅層で曝気循環を行い、プランクトンを無光層に送り込みます。



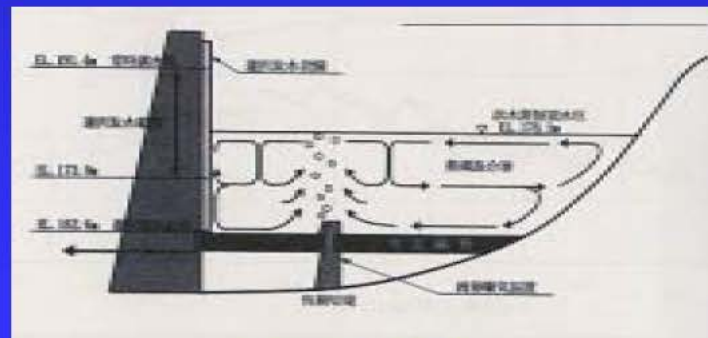
深層曝気設備
(日吉ダムの事例)



深層曝気設備
のイメージ図



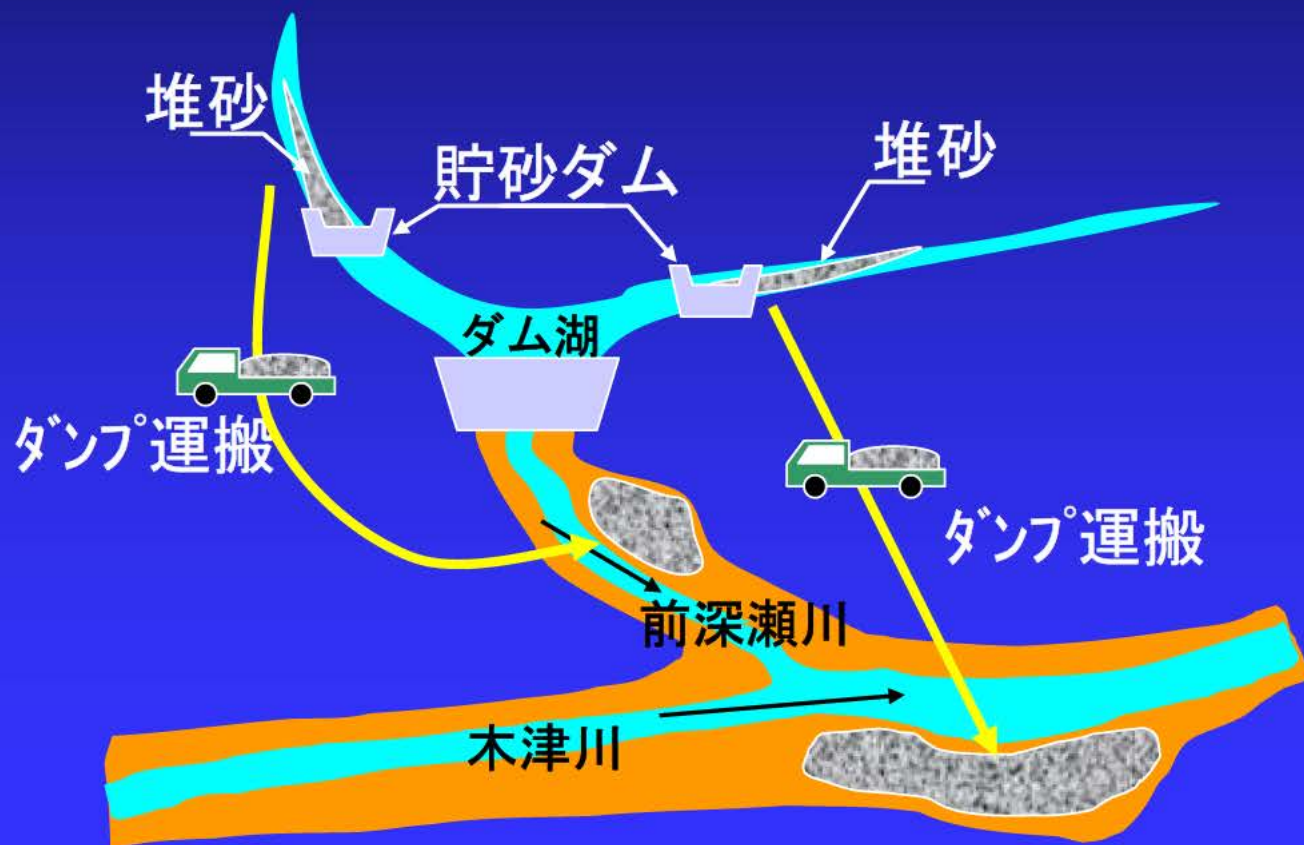
浅層曝気設備
(日吉ダムの事例)



浅層曝気設備の
イメージ図

■土砂移動の連続性の確保

土砂移動の連続性を確保するため、上流に堆積した土砂を計画的に採取し、ダム下流へ供給する方法等について検討します。



■生態系

生態系に関する調査を行い、その保全について検討及び対策を実施します。

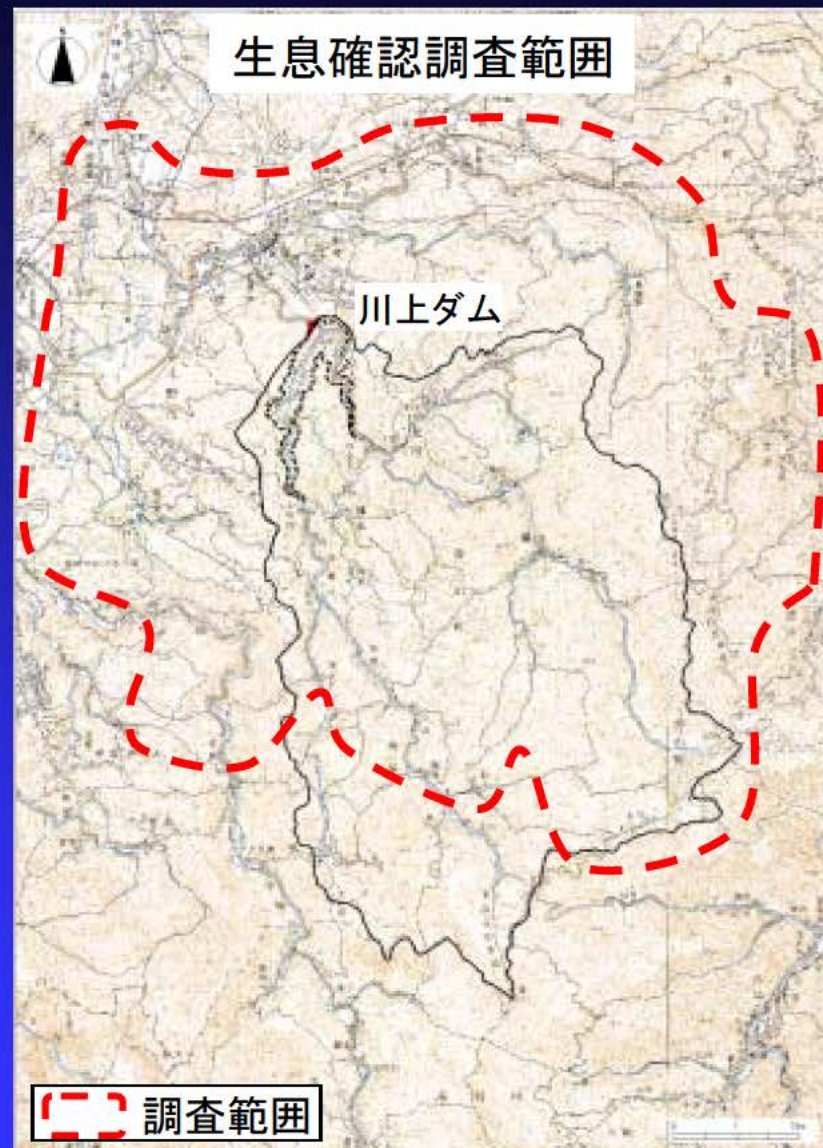
上位性	陸 域	「上位性」とは、食物連鎖の上位に位置する種（オオタカ等）及びその生息環境を表現するものです。	オオタカ
	河川域		オオサンショウウオ
典型性	陸 域	「典型性」とは、地域の生態系の特徴を典型的に現す生物群集及び生息・生育環境を表現するものです。	落葉広葉樹林、アカマツ林 スギーヒノキ壮齡林
	河川域		アユ、アマゴ等の生息する河川
特殊性	陸域	「特殊性」とは、典型性では把握しにくい特殊な環境を指標する生育・生息環境及びそこに生育・生息する生物群集を表現するものです。	川上ダム周辺では特に存在しません。

■上位性(陸域)の現況

■オオタカ

平成8年度より調査を開始し、平成14年度までに調査範囲内においてオオタカが生息していることを確認しています。

また、クマタカ、ハチクマ等の飛翔も確認しています。



生物保護の観点から詳細な位置の表示は行いません。